

学校 教育 目標	「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見！」				
	①興味をもって、自ら進んで学習に取り組む力を育てます。(知) ②自ら判断する力と、人を思いやる心を育てます。(徳) ③自ら運動に親しみ、すこやかな心と体を育てます。(体) ④人とのつながりを大切にし、地域を愛する心を育てます。(公) ⑤多様な考えを認め、共に生きていく力を育てます。(開)				
学校 概要	創立 28 周年	学校長 佐藤 朗子	副校長 岡村 真	2 学期制	一般学級: 29 個別支援学級: 8
	児童生徒数: 959 人	主な関係校: 矢向中学校 矢向小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	矢向中学校 新鶴見小学校 矢向小学校	輝く未来を切り拓く、たくましい子 ----- (1)児童・生徒指導についての情報交換および研修会等 (2)小中学校での合同行事の実施等による児童生徒の交流活動の促進 (3)教科・領域での小中合同研究協議 (4)学習指導要領に沿った小中一貫カリキュラムに向けての教育実践

中期 取組 目標	○教育目標の実現に向けて、自分を信じ、仲間と地域とつながり、未知なる道を自分たちの力で切り拓く子どもの育成を目指します。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら授業を進めます。 ・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを見取り寄り添います。 ・地域の人たちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して地域を愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①基礎・基本の定着を目指し、学年研や年次研を通して教材研究を充実させることにより、教師の授業力向上を図る。外部の研修にも積極的に参加し、日々の授業実践に生かしていく。 ②重点研究テーマを「探究的な学びができる子どもの育成～教師の授業力向上を目指して～」とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりをする。
徳 道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を中心に各教科の学習において、自他を思いやる心を育てていくようにする。 ②全学級の道徳科授業公開を年一回以上行い、心の教育の実践について保護者に啓発していく。
体 健康教育 食育	①年間カリキュラムをもとに、低中高ブロックのつながりを意識し授業づくりに取り組む。学校全体として、時数や割り当てに無駄なく効率的に実施できるようにする。 ②規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、養護教諭と担任が連携しながら、保健学習の充実を図る。また、栄養教諭と担任が連携して、食育タイムや教科学習、給食時間の食育に取り組み、児童の食に対する意識をさらに高める。
公 地域学校 協働活動	①しんつるサポーターズ(地域学校協働本部)、スクールパートナーと連携し、計画的に保護者・地域人材を活用し、教育活動の充実を図る。年度初めに一括してボランティア登録をする仕組みをつくる。 ②学校運営協議会に様々な立場の教職員が出席し、学校の現状について意見交換するとともに、委員が授業や行事を参観する機会を設け、子どもの姿を共有しながら、地域と共に歩む学校運営を目指す。
いじめへの対応	①いじめの未然防止のために、児童に関する組織的な情報共有やいじめアンケート等の取組を実施する。YPの効果的な活用について学び、実践につなげていく。さらに、ホームページ等を通して、いじめ対応への学校の取り組みや方針を積極的に伝えていく。 ②いじめやいじめにつながる案件について、基本方針に則り、迅速かつ丁寧に組織的な対応を行っていく。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①主任・主幹会で協議すべき内容を精選し、学校運営上の課題を明確にしておく。そこで話し合ったことを学年内で確実に共有し、教職員全員が強みを生かしつつ学校運営に参画できることを目指す。 ②メンターチーム研修の柱を明確にし、教科研修を中心にした自発的な取組を学校全体で支えていく。学習指導・児童支援の実践力向上につなげる。
特別支援教育	①学年間で情報を共有し、児童支援専任・特別支援コーディネーターを中心に組織的・計画的・継続的に支援していく。関係機関とも密に連携をとるとともに、支援の中長期的な見直しも図っていく。 ②個別支援の必要な児童の理解と、支援や交流学習の在り方について、教職員が共通認識をもって研修する。どの児童にとっても分かりやすいユニバーサルデザインの視点を含めた、授業づくりや支援の在り方について学ぶ。
人権教育	①学級や学年、異学年集団において交流のしかたを工夫し、行事や活動を通じて子どもが人とのつながりを感じ、互いに認め合える集団作りを目指す。 ②日々の学級指導や人権週間等を通して、人とのつながりの中から、子ども同士が認め合い、自分も他の人も大切にできる心を育成する。